

車両 タルゴ社のAvrilには従来にない設計が盛り込まれた

原題: Unconventional thinking behind the Avril
誌名: Railway Gazette International Vol.168 No.11 (2012-11) p44-46

イノトランスで公開されたタルゴ社の380km/h車両Avrilのコンセプトは定員増と軽量化によるエネルギー消費の低減である。スペインの大学や研究機関と協力して、車体幅の増加と軽量化に成功し、列車キロ当たり12.4kWhと、従来のタルゴ高速車両の7%減をめざしている。



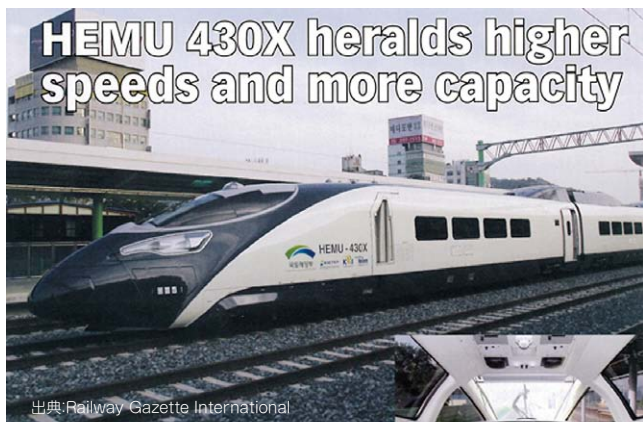
出典: Railway Gazette International

タルゴ社 Avril

車両 韓国のHEMU430Xはさらなる高速と定員増をめざす

原題: HEMU 430X heralds higher speeds and more capacity
誌名: Railway Gazette International Vol.168 No.11 (2012-11) p38-43

2017年までに韓国は世界最高速度で営業運転する高速列車を開発中で、そのための走行試験が京釜線で行われている。動力分散方式で、車体幅を広くし軽量化のためアルミニウムのダブルスキン車体構造とし、軸重14t以下を目指した。営業時は8両編成で、最高速度350~370km/hを想定している。



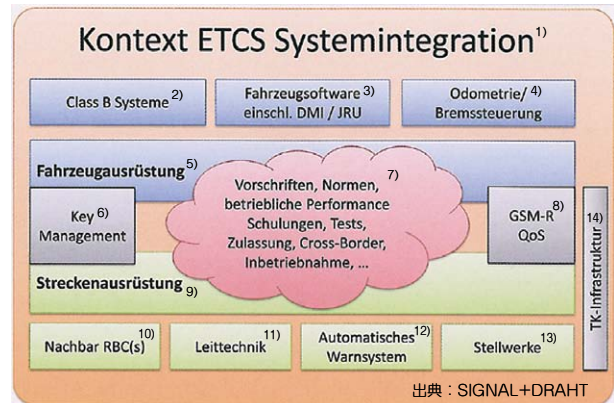
出典: Railway Gazette International

今年初めに登場したHEMU430Xプロトタイプ編成は、ソウル、プサン間で速度向上試験を行っている。

情報 SESAR & ERTMS - 交通統合のためのヨーロッパのイニシアチブ

原題: SESAR & ERTMS - Europäische Initiativen zur Vereinheitlichung des Transports
誌名: SIGNAL+DRAHT Vol.104 No.11 (2012-11) p10-15

SESARとERTMS、これら2つのプログラムはヨーロッパ委員会によって始められた航空と鉄道の輸送部門に関するものである。運転上の、技術上の、また規格上の相互運用性は将来のヨーロッパの交通システムの基礎である。本記事では2つのプログラムの大局的な目標、組織、開発状況が比較しながら述べられる。



ERTMS - システム統合

1) ETCSシステム統合の全景 2) クラスBシステム 3) 車上ソフトDMI/JRU含む 4) 走行距離計/ブレーキ制御 5) 車上設備 6) 重要な管理項目 7) 規則、規格、運転性能教育、試験、許可、国境越え、営業開始 8) サービス品質 9) 地上設備 10) 隣接無線閉そくセンター 11) 制御システム 12) 自動警告システム 13) 信号扱所 14) ツールキット

輸送 シミュレーションシステムがスイス鉄道における教育訓練を改善する

原題: Simulationssystem verbessert Aus- und Weiterbildung im Bahnnetz der Schweiz
誌名: SIGNAL+DRAHT Vol.104 No.9 (2012-9) p12-15

SBBは複雑化している列車運行を扱う列車指令員を養成するためにコンピュータシミュレーションシステムを使用している。学習・訓練システム(LTS)は実際の鉄道運行を厳密に再現することを通して、職業教育や再訓練を改善している。計画通りの運行をシミュレーションするだけでなく、故障シナリオの訓練も可能である。



出典: SIGNAL+DRAHT

講習会に投入された学習・訓練システム

WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ先 (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.or.jp